



日本共産党荒川区議団 2025年7月27日 NO.233

北村 あや子 区政ニュース

参議院選挙の結果 荒川区は投票率61.70%

荒川区		東京都	
【東京選挙区】	得票数	得票数	
当 川村 ゆうだい 公明・新	11,425	606,181	
当 鈴木 大地 自民・新	9,910	772,272	
当 さや 参政・新	9,894	668,568	
当 牛田 まゆ 国民・新	9,838	634,304	
当 吉良 よし子 共産・現	9,297	562,443	
当 奥村 よしひろ 国民・新	8,450	585,948	
小坂 英二 保守・新	6,669	276,097	
おときた 駿 維新・元	6,207	382,996	
当 塩村 あやか 立憲・現	5,977	517,885	
たけみ 敬三 自民・現	5,572	355,369	
おくむら まさよし 立憲・現	4,280	368,067	
平野 雨龍 無・新	3,770	235,411	
みねしま 侑也 みらい・新	3,659	250,539	
山本 ジョージ れいわ・	3,295	243,092	
吉田 あや 再生・新	1,762	128,746	
山尾 しおり 無・新	1,235	106,230	
西 みゆか 社民・新	916	80,552	
他	2,557	187,599	

荒川区		東京都	
【比例代表】	得票数	得票数	
自由民主党	18,098	1,232,489	
国民民主党	16,384	1,075,916	
参政党	12,102	788,983	
公明党	9,999	536,029	
立憲民主党	9,500	816,962	
日本共産党	7,590	448,646	
日本保守党	7,320	428,340	
チームみらい	6,532	431,085	
日本維新の会	5,978	392,470	
れいわ新選組	5,155	371,736	
社会民主党	2,085	166,328	
再生の道	1,648	111,146	
NHK党	1,213	80,913	
その他	1,215	94,532	

7月20日投開票で行われた参議院選挙の結果についてお知らせします。投票率は61.70%となり、前回(56.10%)を超えました。参議院選挙では40年ぶりとのこと。

日本共産党の吉良よし子は東京選挙区で3期目の当選を果たしました。皆さんが選んだ議員がこの後の任期6年、どう行動するかも注目です。



今回の投票済証は荒川遊園でいもむしジェットコースターに乗るあら坊とあらみいがデザインされたものでした。お受け取りになりましたか。

荒川区議会 いのちと健康、暮らしへの支援を

荒川区議会6月会議で日本共産党荒川区議団が行った質問と区の答弁を一部お知らせします。

質問:物価高で介護難民をうまない、介護・障害施設への緊急支援を

2024年度の介護報酬改定では介護1.59%、障害1.12%の引き上げで物価高騰には追い付かず、訪問介護の基本報酬も軽減されました。全国的に休業・廃業が増加し、介護難民をうみかねない事態です。世田谷区では介護・障害施設に緊急給付金を実施、品川区は訪問介護事業所に報酬引き下げ分の差額支給などを実施しています。荒川区でも区民の命と介護を守る緊急支援を求めました。

区の答弁 介護サービスの確保には緊急的な支援ではなく、人材確保と経営基盤のための支援が重要であ

り、安定した運営のための支援を行う。

質問:エアコン購入・修理と電気代の補助、エコ助成の改善を

区の高齢世帯等へのエアコン助成が2019年度に終了。再度、命を守るエアコン購入・修理助成と電気代補助の実施を求めました。エコ助成の補助増額など制度改善も提案しました。動画(QRコード)でも配信しています

区の答弁: エアコン助成は目的を達成した。電気代補助は極めて困難。エコ助成は多くの区民が活用できるよう取り組む。

➡裏面に続く

発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246 e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所>

荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



質問:がん検診の有料化は中止し、受診率向上に具体策を

荒川区の無料がん検診は早期発見に役立っており、2026 年度からの有料化・がん予防センター廃止の計画は、区民の命にかかわります。23 区でも有料化は半数程度にとどまっています。有料化していた葛飾区

では受診率向上のため今年度から無料化しました。区は受診率向上・がんの早期発見の取組にこそ力を注ぐべきです。

区の答弁:受益者負担などから有料化を実施。料金は過度な負担とならない設定として、がん予防の重要性を周知・啓発する。

認可保育園の待機児童 荒川区は今年度 11 名

今年度の認可保育園4月入園は、申し込み 1,429 人・入園不承諾は 206 人でした。区の発表による待機児童数は 11 人で、昨年の 33 人から減少しました。

待機児はすべて1歳児で、東日暮里地域で多くなっています。尾久地域では待機児なしとのことですが、入園出来ても「きょうだいがある園になってしまい、送り迎えも大変」など切実な実態もあります。また、不承諾でも「近隣に空いている園がある」「1園のみを希望」など待機児に含まれないケースがあり、希望しても保育を利用できない子どもが 60 人以上です。



	2017年	2025年
0～5歳児数	10,692	8,810
尾久	2,380	2,176
荒川	1,373	1,318
町屋	1,346	1,119
日暮里	2,448	2,242
南千住	3,145	1,955
保育利用者数	5,273	5,776
保育利用率	49.3%	65.6%
待機児童数	181	11

区内の0～5歳児数のピークは2017年 10,692 人で、年々減少し、今年は 8,810 人(前年比 217 人減)。一方で保育を利用する児童は増加、今年度 5,776 人で保育利用率は 23 区最高の 65.6%です。共働きしなければ生活できないという子育て世帯の実情もあります。少子化といえども、保育の確保は引き続き課題です。

こども誰でも通園制度が荒川区でも始まりますが...

第二東日暮里保育園で今年9月から「こども誰でも通園制度」が荒川区でも始まります(2 名枠)。

保育園に通園していない乳幼児期の子どもたちの育ちを家庭だけではなく、地域社会が共同し公的に進めていくことは大事であり、考え方としては前進したと思います。

しかし、先行実施の第二東日暮里保育園一時保育室では、職員体制の加配もなく受け入れることになります。今でも大変な保育士にさらなる責任と負担を負わせることになり、良い保育ができるのでしょうか。



人見知りや少しの環境変化で不安定になる時期の子どもにとっては大きなストレスです。泣きっぱなしということにもなりかねません。保育事故

2025年度 認可保育園 入園状況

	2025	2024
認可園申込者	1,429	1,437
入園承諾	1,223	1,168
入園不承諾 ※①	206	269
他の保育利用		
認証保育所	15	14
家庭的保育	3	14
定期利用	0	0
小計 ※②	18	28
保育利用なし		
1園希望	6	8
地区内空枠あり	34	12
求職活動停止中	11	11
育休延長可	125	171
書類不備	1	6
小計 ※③	177	208
待機児数①-(②+③)	11	33

地域別では

荒川	町屋	東日暮里	計
1	2	8	11

すべて 1歳児



は預け始めた時期に起きやすいことから、子どもの安全面での危惧の声もあります。

短時間、初めての子どもを日替わりで受け入れる「誰でも通園制度」は十分な体制と保育士のスキル、経験が必要です。子どもの利益を最優先に考えた設置基準、専用保育室の設置と専任の保育士の配置を条例で定めてスタートすべきではないでしょうか。現在行っている一時保育事業や子育て交流サロンでの一時預かりなどの条件整備を行って、さらに拡充し在宅育児の支援をすすめる方が、現実的だと思います。

さらに本格実施されれば、利用者と事業者との直接契約で自治体の責任が後退、営利企業参入拡大で保育の質が低下するのではなどの心配もあります。